

記者発表（発表・資料配布）				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	T E L	発表者名 (担当課長(班長)名)	その他の配布先
7／19 (水)	兵庫県立美術館 営業広報グループ	078-262-0905	岡田 徹 (古巻 和芳)	—

兵庫県立美術館開館15周年記念著名人連続講演会 第2回
「生田東大教授 バカゼミ」について

兵庫県立美術館では、2002年4月に開館してから15周年を迎えたことを記念し、建築、先端技術、伝統芸能、美術における第一人者を迎え、現在取り組んでいるプロジェクトや将来の夢について、お話しいたします。全4回シリーズの第2回は、医用ロボットとマイクロマシンの世界的先駆者、生田幸士東京大学工学部教授の講演です。

- 1 日時
平成29年7月29日(土) 13:30～15:00
- 2 会場
兵庫県立美術館
- 3 聴講料
無料
- 4 内容
別紙のとおり

【参考】講演ラインナップ

- 第1回 平成29年5月28日(日) 妹島和世（建築家） 実施済み
- 第3回 平成29年9月6日(水) 15:00～16:30
桂南光（落語家）×養豊（兵庫県立美術館長）
- 第4回 平成29年11月19日(日) 13:30～15:00
名和晃平（彫刻家）

【問い合わせ先】

県立美術館総務グループ 牧野
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
電話：078-262-0901 FAX：078-262-0903

県立美術館開館15周年記念著名人連続講演会

生田 東大教授 バカゼミ 県美で開講



医用ロボットとマイクロマシンの世界的先駆者
東京大学工学部生田幸士教授

日時

7月29日(土)
13時30分～15時00分

会場

兵庫県立美術館
ミュージアムホール

申込

当日10時よりカフェ横で
整理券配布

講師プロフィール: 東京大学教授
NHK『課外授業ようこそ先輩』、『爆笑問題のニッポンの教養』、日本テレビ『世界一受けたい授業』などテレビ出演も多数。

問題

「10階建ての屋上から生卵を落としても、割れない装置を作りなさい。ただし、使っているのは、レポート用紙サイズのボール紙と接着剤だけ。」
そんなことできるの?

できる?

答えは1つじゃない

東大で、この生卵が割れない装置作りを競うコンテストを定期的に開催しているんだって。

参加する学生はさまざまな工夫をするが、成功する人はわずか3%以下。しかし、同じコンテストを高校生対象に行うと、多くの場合は東大生を大きく上回る20%以上が成功するんだそうだ。

世界初をつくり続ける東大教授の
「自分の壁」を超える授業 (著書より)

「バカ」を学ぶと頭は良くなる

人は誰でも天才になれる
競争せずに「その他大勢」から突き抜ける方法
成功するために必要な独創の作り方

バカにされ、笑われたけど、
世界初10ミクロンの光で動く
医用ロボットできました!!



県立美術館開館 15 周年記念著名人連続講演会

兵庫県立美術館開館 15 周年を記念して、建築、先端技術、伝統芸能、美術における第一人者を迎え、現在取り組んでいるプロジェクトや将来の夢についてお話しいたします。

○聴講無料

○会場 ミュージアムホール

○要整理券 ※当日10:00よりホワイエ(カフェ前)にて配布

○定員 300人

第1回

5月28日(日) 妹島 和世

建築家
SEJIMA Kazuyo

終了しました。

第2回

生田 幸士

東京大学工学部教授(工学博士)
IKUTA Koji

7月29日(土)

13:30~15:00 (開場13:00)

医用ロボットとマイクロマシンの世界的先駆者として知られる。たまご落としや馬鹿ゼミなどユニークな教育も推進。肉眼では見えないマイクロアートにも挑戦中。独創人材輩出で有名な大阪府立住吉高校卒、大阪大学で金属材料工学科と生物工学科を卒業後、東京工業大学大学院博士課程修了。カリフォルニア大学、九州工業大学、名古屋大学教授などを経て、2010年に東京大学教授に就任。同年に紫綬褒章を受章。

第3回

9月6日(水) 桂 南光 × 蓑 豊

落語家
KATSURA Nankou

兵庫県立美術館長
MINO Yutaka

15:00~16:30 (開場14:30)

1970年3月に桂小米(故・枝雀)に入門して、芸名「べかこ」。1993年11月に三代目「桂南光」襲名。1994年12月には「上方お笑い大賞」を受賞するなど、受賞歴多数。各地での落語会をはじめ、テレビやラジオなど各方面において多彩な活躍で知られる。

第4回

名和 晃平

彫刻家
NAWA Kohei

11月19日(日)

13:30~15:00 (開場13:00)

2009年に京都に創作のためのプラットフォーム「SANDWICH」を立ち上げる。2011年に東京都現代美術館で個展「名和晃平-シンセシス」を開催。独自の「Pixcell」という概念を軸に、ビーズ、発泡ポリウレタン、シリコンオイルなど様々な素材とテクノロジーを駆使し、彫刻の新たな可能性を拓いている。近年は建築、舞台のプロジェクトにも取り組み空間とアートを同時に生み出すことに挑戦している。京都造形芸術大学教授。

photo: Nobutada OMOTE | SANDWICH

主催: 兵庫県立美術館 神戸新聞社

助成: 一般財団法人 安藤忠雄文化財団
TADAO ANDO CULTURAL FOUNDATION

協賛:  THE WESTIN
AWAJI ISLAND
RESORT & CONFERENCE CENTER

 神戸且月堂

もう半世紀すこやかに
 SunCity

 sysmex

SHIMABUN

神鋼不動産

日本盛

 学校法人 阪急学園

 みなと銀行

The Mirai Salad Company
ROCK FIELD

お問い合わせ: 兵庫県立美術館 TEL 078-262-0901